

## Seikajin

特集 **自分の機嫌をとりながら、  
心地よく暮らす**

巻頭インタビュー

イラストレーター Ame Gemba さん

01

インタビュー：気分転換のヒント

株式会社山田松香木店 営業 藤原 康教 さん

07

草津市立 水生植物公園みずの森

企画広報協働リーダー 濱中 真理子 さん

10

各支部の取り組み

13

木野会活動報告

15

2023年度 専任教員退職者

16

木野会「在学生支援事業」のご報告

17

## 特集

### 自分の機嫌をとりながら、心地よく暮らす

ここ数年は取り巻く環境変化への対応に精一杯で、自分をいたわることままならない状況が続いていたように思います。今号では、自分に適した働き方を実践している人へのインタビューや、「香り」や「植物」による気分転換の方法をご紹介します。自分と向き合い、機嫌よく暮らすことについて見つけ直すきっかけになれば幸いです。



イラストレーター  
Ame Gemba さん

### 自分に適した働き方で、 機嫌よく暮らす

イラストレーターのAme Gembaさん（通称あめちゃん）。船乗りとの結婚を機に、その日常をマンガに描きはじめ、現在は業界紙での連載やフェリーのグッズ制作など、船にまつわるお仕事を多数手がけられています。さらに、福祉施設のプロジェクツスタッフと観光ガイドとしても働き、3つの仕事を掛け持ちされています。ジャンルの違う複数の仕事をするなんて大変ではと思いますが、そこが、機嫌よく働くことにつながっているそう。また日常をマンガにすることは、日々面白味を見出すことや感情を客観視することであり、それがご自身のバランスを取ることにつながっているようです。仕事との向き合い方や、創作との向き合い方を通して、あめちゃんにとって「機嫌よく暮らすこと」とはどういうことか、お聞きしました。

#### 「船乗り」との結婚が人生の転機に

—— 船乗りの夫とその妻であるご自身の日常をマンガにし、SNSなどで発信されていますが、マンガは以前から描かれていたんですか

いえ、夫であるゲンさんとの結婚を機にはじめました。マンガを描こう！と思ったというよりも、船

乗りの日常があまりにもぶっ飛びすぎていて「これは誰かと共有しないとつたいない！」と思ったからです。

—— とにかく発信したいという衝動が先にあったんですね。ぶっ飛んでいる、日常って、例えばどんなことですか

まず、世界を航海する予定が「電話1本」で決まらんです。夫は外航船員といって、自動車や石炭、鉄鉱石などの貨物を船で世界中に運ぶ仕事をしているんですが、年間スケジュールのようなものではなく、突然の電話で次の予定と期間が決まらんです。だから夫と一緒にいるときに電話がかかってくると、いつもドキドキします。1回の乗船期間は、多少の前後はあるものの、大体8ヶ月乗って4ヶ月休みというのが多いです。陸上勤務をすることもありますが、それもいつ、どこになるかわかりません。

航海中は、トイレが詰まっても業者を呼ぶことはできないし、散髪や怪我の応急処置など、とにかくなんでも自分たちでやらないといけない。そのお陰でというのかもしれませんが、休暇中にも、自宅のトイレをウォシュレットに換えてくれたりしましたね。

—— 適応力の高さが必要とされる仕事なんですか。ゲンさん、今はどういうお仕事をされているんですか

今は船を降りて、陸上勤務をしています。船のマナージャーとして、いろんな船の運行管理をしています、

世界中の船から1日に1000通ほどのメールが届くそうです。以前は貨物船の船長をしていました。

—— そもそも、船乗りとはどうやって知り合ったんですか

卒業後も親交のあった精華の職員さんから「この人となら幸せになれるぞ」と紹介されて。決め手は、この人と結婚したら「面白そうやな」と思ったからです。朴訥とした人だけとすごく面白味のある人で、デートに改造車でやって来たかと思えば「煮物作ってきたぞ」なんて言い出すし（笑）。ただ、船乗りとの生活がこんなに大変だとは思ってなかったですけどね（笑）。

—— すいギャップですね（笑）。船乗りマンガは、現在業界紙でも連載されているそうですか

今は日本人船員やその家族向けの月刊紙『海上の友』と、外国人船員向けの英語の月刊紙『Journal for all the Mariners』の2紙で連載しています。英語版は主にフィリピンの人が読むので、もうすぐクリスマスで嬉しいですねとか、普遍的な内容を描くようにしています。

—— ちなみに、ゲンさんのマンガに対する反応はけっこう喜んでくれています。ゲンさんは「コテコテの大阪人なので、「面白く書いてくれたら嬉しいわ〜」

※1 「たんぼの家」は、奈良を拠点に、障害のある人たちの生きる場づくりから、個を支えあう新しいコミュニティづくりにも取り組む市民活動。3つの組織により構成され、コミュニティアートセンターや福祉施設の運営、アートPJの企画運営などを行っている。



と言っています。自分の仕事を間接的に知ってもらえることや、大好きな船のことを知ってもらえるのが嬉しいようです。

— SNSで発信しているマンガでは、「自身の不安や葛藤なども描かれています。どのような反響がありますか

同じ船乗りの妻から、コメントやメールをいただきますね。長いときは半年以上会えないし、今は海上でもネットがつながるようになりましたが、船の種類や位置によって連絡がつかないこともある。船乗事故のニュースも多いし、帰りを待つ家族や恋人は、気持ち不安定になりがち。でも、日本人の外航船員は2000人ほどなので、同じ境遇の人は少ない。だから「同じ悩みを持っている人がいる」というだけで救われると言われます。

あとは、船乗りの妻の悩みがポップに可視化されているのは珍しいらしく、船会社でもけっこう読まれているようです。夫が研修で別の会社の方と一緒にあったときに、「もしかして本物のゲンさんですか?」と声をかけられたこともありました。びっくりしましたね(笑)。

— 発信する上で心がけていることはありますか

せっかくなら、面白く描きたいと思いますが、私の描く漫画なら安心して見られる、読んでもほっこりすると感じてもらえたらと思っています。

あらためて奈良の歴史について学び直しています。新しい知識が増えるのは面白いし、意外と知らないことも多くて楽しいですね。仏像の作風が時代によって違つか。文献には昔の人がうっかりやらかしたことも記録に残っていて、戦時中仏像を疎開させようとして、運搬が雑でボロボロになってしまったことが書かれていたりします。完璧じゃない人間って愛おしいと思います。

— 観光ガイド以外に、福祉施設でプロジェクトスタッフ(以下PJスタッフ)としても働かれています。ここでの仕事についても聞かせてください

「たんぼの家」の運営する施設で、障害のある人のアート活動を世の中に伝える部署で働いています。基本的には週2日の勤務で、事務や広報、

ます。心がけているのは、ちょっと希望を持てるような内容にすること。だから辛いときも、その感情をある程度消化してから描くようにしています。とはいえ、私が荒れて毒をぶちまけたときのほうが「いいね」の数が増えたりするんですが、「なんで帰ってけえへんねん」とか、「いつまで船乗つとんねん」とか(笑)。共感性の高いものほど反響が大きい気がしますね。

— マンガ以外にも、船関連のお仕事が多いそうですね

SNSなどの投稿を見た船会社さんからご連絡いただいて、ノベルティやお土産、会社案内やパンフレットなどをつくっています。グッズに関しては、自分が欲しいなと思えるものを提案するようにしていますね。変な言い方かもしれませんが、船を正しく、それでいて可愛く描く技術はあるほうかなと思っています。船業界の方とはかく船への愛が深く、デザイナーへの細かな要望があったりしますが、気持ちの強さにはこちらも本気で応えたいと思っています。ここにイカリがないとおかしいとか、あるべき部分をきちんと描けていなければ、船好きの方の視線にも触れないと思うので。

最近では、船の排気ガスも環境に配慮しないといけない規制ができたので、船会社の媒体で「煙突から煙がもくもく出ている」という表現をすることはできなくなりました。また、新しいフェリーが出るので実際に見に行ったり、乗りに行ったりもしています。

海外からのお客様も多いので通訳をしたり、ときどきデザインやワークショップの講師などをすることもあります。もともと友人が姉妹施設で働いていて、そこで利用者さんのものづくりのお手伝いをはじめたのが、関わりのおきっかけです。

— 「たんぼの家」は、障害のある方がアーティストとして所属し、絵画や陶芸、演劇やダンスなどさまざまな表現活動を仕事として行われているんですね

そうですね。働くスタッフにも、俳優やアーティスト活動をされている方が多くいますし、障害のあるなし関係なく、「表現」を通して人と人が関わり合えるところがとても魅力です。私自身も、絵や作品はもつと自由に、楽しみながらつくっていいんだなと気づかされたりと、利用者さんのあり方には、学ぶことがとても多いです。障害のある人というより、いち「アーティスト」として尊敬しています。

— ここで働くことは、「自身の創作へよい影響があるんですね

ありますね。展示方法や創作方法もすごく参考になります。先日もWS用の影絵人形をつくったりと、制作と地続きなところもありますし、クリエイティブな職場だと思います。そして実は、船乗りの妻としてのメリットもあって。自力で瓶の蓋を開けられなくて、職場に持って行って開けてもらったことが

重度の船オタクである夫に感化されて、私も今やすっかり船オタクです(笑)。

### 奈良ではじめた2つの仕事

— 本業のイラストレーター以外にも、現在2つの仕事をされていますよね。まず「観光ガイド」をはじめた経緯は

夫の陸上勤務で住んでいた東京から関西に戻ることになり、地元の奈良に転居しました。せっかくだから何か地元で根付いた仕事ができないかと考えていたとき、ネットで求人を見つけました。修学旅行で来た小学生から高校生を対象に、東大寺や興福寺、奈良公園などを案内しています。修学旅行のガイドなので、基本的には春と秋だけのお仕事です。

— 案内で話す内容は自分で考えるんですか

一応ガイド用の台本がありますが、台本通りに話しても生徒さんは興味を持ってくれない。だからアドリブもけっこう入れています。例えば、「この大仏さんの大きさは『進撃の巨人』の巨人と同じくらいなんですよ」と言つと、すごく食いついてくれます(笑)。

— ガイドをはじめたから、変わったことってありますか

ありました。もし夫が不在のときに災害が起きたとしても、頼ることのできる場所があるなと思えるのは大きいです。心の拠り所になっている部分もありますね。

— 「たんぼの家」で働くようになって、変わったことはありますか

以前スタッフとして参加したワークショップに、足に障害のある方が参加されていたんです。そこで「杖」をダンスの小道具として使われているのを見て、衝撃を受けました。この仕事を通じて、障害や年齢というのは、その人のほんの一部なんだなと思うようになりましたね。

### 得意なことと相手に喜んでもらう

— 複数の仕事を両立するのは大変ではないですかむしろ、働く場所や内容が変わることによって、気分が切り替わる。これは自分にとってすごく良いことですね。機嫌よく働くために、いろいろな仕事を細切れにやっています。

— なるほど。違う環境や内容の仕事をするということ自体が気分転換になつてるんですね。ほかにしていることはありますか

本屋さんに行く、お散歩をする、音楽を聞く、鹿を



観光ガイドの様子。ガイド用の旗もお手製



たんぼぼの家の利用者さんとの会話も楽しい



毎月連載している船員向け業界紙

船のノベルティや  
自主制作の鹿グッズ



イラストレーター

**Ame Gemba**（あめ げんば）

2008年度 芸術学部デザイン学科  
プロダクトコミュニケーションデザイン専門分野卒業

URL <https://aboutme.style/studioameforest>

Instagram @studioameforest

貨物船の船長と結婚して以来、船のイラスト・漫画を多く描いています。さらに、鹿が好きすぎて地元奈良の観光ガイドをはじめたり、福祉施設「たんぼぼの家」でプロジェクトスタッフとして勤務したりしています。

撫でる、人と話すなどですかね。公園で鹿に触れていると、大抵のことがどうでもよくなる気がします。

— 複数の仕事や夫に帯同しての転居など、変化をいとわない印象があります。逆にこれは「やらない」と決めていることはありますか

いえ、めっちゃ「こだわり野郎」なので、本来は変化や転居って苦手なんです。だからほんとに良いと思う環境や物件に巡り会えることは少ない。好きなものがはっきりしているからこそ、なるべく「好きなものの近くにいること」を心がけていますね。自分が感覚的に「合わないな」と思うものや事柄からはなるべく距離を取るようになっています。もし付き合う必要がある場合は、あとで嫌なことの倍量の好きなことをするようにしています。

それと、「たんぼぼの家」のことは絶対マンガにはしないと決めています。障害の捉え方って、当事者じゃないと描けないことがいっぱいあるし、親御さんの抱えてる葛藤や悩みは、私が代弁できるレベルのものではないです。当事者じゃない人に言われると腹が立つだろうなとも思いますし。半端にやれるものではないから、私が表現すべきものではないと思っています。船乗りに関することは、私自身や夫のことを直接描いているので矛盾がないし、描くことへの葛藤はありませんが、マンガに「何を描くか」は葛藤する部分が多いです。

— それぞれの仕事に共通するところはありますか

ものを放出する感じでしょうか。両方をする事でエネルギーが循環して、気持ちがあたまになります。だからどちらか一方が足りなくてもダメです。

### 機嫌よく暮らす秘訣とは

— これから取り組んでいきたいことや、興味を持ってしていることはありますか

「型染め」を習いはじめて、今すごくハマっています。持病で目が見えづらいので、でっかい作品をつくりたいなと思っています。仕事に関して、昔はもっと知られたという欲求もありましたが、今はそういう意識はないですね。体の不調や、たんぼぼの家で働くようになったことあっても、楽しくお仕事できたらいいなという感じ

どれも「やっていて楽しい」ところですかね。観光ガイドや福祉の仕事はとくにそうですが、言葉選び一つで相手の反応が変わったりします。どんなふう

に伝えればよいか工夫して、よい反応が得られると嬉しいですね。また、ジャンルの違う仕事をする事で、相乗効果も生まれています。例えば、観光ガイドの経験がフェリーの土産のデザインやパンフレットの提案に生かせたり、福祉施設で働きながら観光ガイドをしていて、このリアフリートイレは使いにくいだろうなと思ったら、別のトイレを案内することができるとか。

いろんな仕事をしてきましたが、その本質にあるのは、なるべく自分の得意とすることで、「相手に喜んでもらう」ことだと思っています。絵やデザイン、話すことなどは、元々自分が得意としていたことですが、それぞれの仕事の経験が加わることで、視野を広げ、物事を多面的にみられるようになりました。ジャンルは違っても、全部の仕事はつながっているなと思います。

— 仕事を選ぶとき、基準にしていることは

「面白そう」と感じるかどうか。これまで知らなかったことを新たに知るのって、面白いですよ。それと、違う人の視点に立つことでもある。例えば観光ガイドなら、これまでは奈良に住む人としての視点だけでしたが、そこに観光ガイドとして、奈良を伝える人の視点が加わるとか。あとは基本的に誘わ

ずはしっかりと食べて、しっかりと寝ることが大事です。それから「面白そうだ」と思ったことには、どんどん関わること。でも、苦手なものからは、なるべく離れることですかね。あとは、自分のスペースを確保すること。私は自分の機嫌の変化だけでなく、一緒にいる相手はどう感じているかについても、わりと敏感に感じ取ってしまうほうです。だから一人の時間と誰かと過ごす時間、ほどよい距離感をとることが大事だなと思っています。そういう意味でも、今の働き方と自分の機嫌のとりはリンクしているなと思いますね。

れたら断らないですかね。

— 断ることはほとんどありませんか

いえ、SNSのPR案件や明らかに利用しようとしているな、心がないなと感じるとき、ステレオタイプな依頼などは断ります。プロダクト専攻でしたが、学生の頃も、ターゲットユーザーを決めるということとはしませんでした。一般的にはこうだからではなく、具体的な誰かのためにということや、当事者として実感の伴うことをやりたいと思っています。仕事に限らず、制作するときもそうですね。

やはり熱量のある人とお仕事をするのは楽しいです。船会社の皆さんがそうですが、愛情を持って何かを語る人の話を聞くのは面白いですよ。例えば観光ガイドでも、80代の同僚のおじいさんと「あそこの仏像の配置が変わった」とか「あの寺が改修中らしい」とか、寺社仏閣に関する蘊蓄を語り合える。年齢や性別といった属性にかかわらず、お互いが同じように「面白い」と思えることで仲良くなれたり、話せたりすることが好きなんです。

— 観光ガイドやPJスタッフは所属して働くこと、イラストやマンガは個人で創作すること。この両立はあめちゃんにとってどういう意味を持ちますか

前者はインプットに近いです。外で他の人と関わることで、自分一人では知ることができない情報や体験をもらえます。後者はその逆で、自分の中にある



株式会社山田松香木店 営業  
藤原 康教 さん

## 香りある暮らしで、 自分の心を整える

お祝いの花束や、淹れたてのお茶の匂い。「良い香り」と感じた瞬間に、心が高揚したり、気分が落ち着いたりする。一方で臭いによって気分を害することもある。目には見えないのに、気分を左右する不思議な「香り」という存在。今回は、老舗の香木店で営業として働く藤原さんに、お香の原料である「香木」のもたらす効果やお香の種類、選び方のヒントなどについて伺った。

### 落ち着く理由は「香木」の香り

お寺に行くと、境内を漂うお香の香りに気分が落ち着くなど感じるのなぜだろう。「香木の香りは、鎮静効果が高いと言われているんです」と、藤原さん。「香木（こうぼく）」というのは、樹木から採れる香料で、お寺で使われているお香には、香木系の香りのするものが多い。

この「香木」を店名に冠している山田松香木店は、1772年創業、2022年に250周年を迎えた老舗の香木専門店。創業時はいわゆる薬屋（薬種業）を営んでいたが、薬種として漢方に使用されているものの多くは、お香の原料となる天然香料でもある。次第に「香り」に特化したものを扱うようになり、現在の薫香業に移行した。香木を扱った製品を出している企業は他にもあるが、「香木」を店名に掲げ

ているのは山田松香木店だけだそう。自社製品は香木を用いたものが多い。

### 需要が高まる「香り」の効果

藤原さんは営業として、お寺や仏壇・仏具店をはじめ、土産物店や百貨店など、多数のお取引先を担当している。高級ホテルや旅館からは、既製品の販売だけではなく、フロントの香りの演出や、リラックサ効果との親和性の高さで、併設のスパからの引き合いも増えてきているほか、滞在中のアクティビティとして、「お香づくり体験」ができる宿泊プランにも協力している。

また「オリジナルのお香をつくりたい」という相談も多い。最近では、アパレル会社から「新ブランドの立ち上げに合わせて、印象的な香りのアイテムを出したい」との相談を受け、オリジナルのお香を調香した。「自社内だけでは浮かんでこないようなアイデアやデザインが出てきたり、これまでとは違う客層に手にとってもらえることが増えたりと、相乗効果もありました」

### コロナ禍の影響

現在は観光客が戻ってきたが、一時期は観光需要の低迷により売り上げが減少。一方で、おうち需要に適した製品がオンラインで売り上げを伸ばしたという。「自分で〈匂袋〉や〈練香〉を調合できるキットが好評で、〈線香〉のキットも新たに開発しました。また『いろんなお線香を試してみたい』という声があり、〈おためし香〉という製品もつくりました。

新たな香りを知ってもらえる機会が増えたのは、よかったかなと思います」

### 「香り」を取り入れる効果

例えば友人の家に行くと、「その人の家の匂い」があるなど感じることもある。一方で自分の家の匂いを意識することは少ない。その場所の匂いに慣れると、何の匂いも感じなくなってしまう。だから、今そこに「ない香り」を新たに一つ立てることが、気分の入れ替えに役立つのだそう。

### 多様なお香、取り入れやすいものは

一口にお香といっても、様々な種類があり、大きくは「温めて使うもの」と「常温で香るもの」の二つに分けられる。では、初心者を取り入れやすいのは、どのようなお香だろう。

「お線香などの室内香は、火をつけて香りを楽しむものですが、火の管理と灰の受け皿を用意する必要がある。場合によってはそれがネックになることもあるかもしれません。火を使わないもので、気軽に取り入れやすいのは、巾着などに刻んだ香原料を詰めた〈匂袋〉や〈文香〉という紙製のお香でしょうか。これらは常温で香りが楽しめます。靴に入れておくほかに、ハンカチやティッシュなどに香り移して持ち歩くのもおすすめです。うちの匂袋は香りが半年くらいはもつので、コストもいい。文香は一つ300円くらいからと、お求めやすい価格のものもたくさんあります」

また、別ブランド「Yamadamatsumi」として、香木や薬種を使った、本格的な香りのハンドクリームやソリッドパフューム（練り香水）、アロマスプレーなど、お香以外の製品も展開している。お香に馴染みのない若い世代にも手取りやすい製品を開発しようと、藤原さんを中心とした若手社員で立ち上げたそう。

パッケージも、お香とは少し違った現代的なアプローチで、白を基調としたシンプルながらおしゃれなデザインを採用している。

### 藤原さんの「香り」の取り入れ方

藤原さんご自身は、日常生活でどのように香りを取り入れているのか。

「小さい子どもがいてあまり火が使えないので、Yamadamatsumiのアロマスプレーを眠る前の枕やシーツに振りかけて、リラックサしています。一番好きなのは、部屋の掃除をしたあとに、お気に入り器でお線香をたくこと。煙が上がっていくのをゆっくり見たり、香りが広がっていくのを楽しんでいます。雑然としたなかで香りを聞きたいので、掃除をしたあとにたくのはおすすめです」

「香り」以外の気分転換にしていることとして、最近エレキギターをはじめられたそう。男の子2人のお父さんでもある藤原さん。子育てに奮闘する日々の中で、短時間だけでも自分だけの空間を持つことが、かなりメンタル面の安定になっていると話してくれた。

### 平安から続く、香り文化を普及したい

2024年の大河ドラマは紫式部が主人公。平安時代には「焚きもの（練香）」と呼ばれるお香が貴族の中で流行し、生活のなかに自然とあった。『源氏物語』の中にも、香を着物にたきしめる、空間にたくななどの描写がたくさん出てくる。

「日本の香り文化は平安貴族たちによって隆盛しました。私たちはその発祥の地ともいえる、京都御所の西側に本店を構えています。平安時代に注目が集まりやすい年だと思っているので、これまで以上に実際に香りを聞く、感じてもらえるような機会を増やしていけたらと考えています」

### そこにある「香り」を感じ、心を整える

香りは「嗅ぐ」以外に、「聞く」と表現されることがある。これには、香りに心を傾けて、心の中でゆつくりと味わうという意味がある。目には見えない香りを感じ取るうとするとは、自分の心の機微を捉えることに近いのかもしれない。最後に、あらためて暮らしに香りを取り入れる魅力について聞いてみた。

「自分がいい香りだと感じる『好きな香り』を一つ持っている、それを聞くだけでリフレッシュできたり、気分が変わる。そんなふうに、香りを実感することを楽しんでいただけたら、『今そこにある香りを感じる』というのは、マインドフルネスにも繋がっていくと思う。香りを取り入れることで、豊かな生活を送っていただけではないなと思います」

草津市立水生植物公園みずの森  
企画広報協働リーダー  
濱中 真理子 さん



植物に視線を  
合わせる面白さ

コロナ禍を機に、植物を育てはじめた人が増えたと聞く。あらためて植物の魅力について知りたいと、植物公園で働く濱中さんを訪ねた。植物の面白さを多くの人に伝えたいと、園の魅力づくりに奮闘する日々や、育て方のヒントを聞いた。

必ず理由があるのが面白い

「植物の（部位）が好きなんです」と濱中さん。「きれいな色だな、変わった形だなという見た目の面白さ、触った感じや匂いなど、そのすべてに興味があるんです。遠くに飛ばされるために羽がついている種とか、虫を誘うために特定の匂いを放つとか、生存戦略の結果今の姿になっている。観察するたび発見があるし、そうした理由を知るのも面白いですよね」。だからもっと、植物に近づいて見る面白さを伝えたいと話す。

濱中さんの働く「草津市立水生植物公園みずの森以下、みずの森」は、平均鑑賞時間が1〜1時間半ほどと小規模ながら、国内外の水生植物を集めた温室や屋外庭園などを備え、多種多様な草花を一年中楽しむことができる植物公園だ。中でもスイレンは150種類以上を栽培し、日本最多数を誇るそう。「例えばスイレンのように水面で花を咲かせ、花

が終わると水中に沈むものもあれば、水中で咲くものもある。また水草の中には、水中から水上に出ると、姿形が変わるものもある。同じ植物でも、陸上と水生の植物は全然違う生き物なんです」

「もったいない」で奮闘

濱中さんは新卒で園芸会社に入社、その後ゆるキャラのマネジメントや大学職員などを経て、2017年からみずの森へ。広報として、取材対応やイベントの企画運営、植物愛好家の展示などを担当している。入社初年度は園にとって試練の年でもあった。それは来園者数が過去最低を記録したこと。隣接する烏丸半島には国内最大規模の「ハスの群生地」があり、開花時には大勢の観光客が訪れていたが、2016年に突如として消滅。来園者数に大きな影響を与えた。また、県による調査では自然回復はないとの結果が出た。群生地頼りで広報に力を入れていなかったこともあるが、そもそも地元の人にもあまり知られていなかったと濱中さんは振り返る。

「いい施設なのに、なんでこんなに知られてへんの？ こんなにきれいに咲いているのに、誰にも見られていないなんて、もったいない！ だからとにかく来園者数を増やさなければ、と思いました」。広報として奮闘する日々がはじまった。

予算ゼロから全国区へ

広報予算がなく、まずは、地元のフリーペーパーに片っ端から電話をかけた。市から県、近畿、関東と広報エリアを徐々に拡大。情報発信にも工夫を重ね、

お香選び 3つのヒント

藤原さんから、初めてのお香選びの参考になる3つのヒントを聞きました。

香りの良し悪しの判断は主観的なもの。自分にどういう「香り」が合うかは、実際にいろんなものを試してみないとわからないと思います。ぜひお店で、いろんな香りを鼻や肌で感じてみてください。不安であれば右記の3点を伝えてもらってもよいですが、難しく考えなくても大丈夫。当社が大切にしている歴史観や季節感が反映されたお店の設えをみていただくことで、さらに香りに対する理解が深まると思います。気分わず、気軽にお立ち寄りください。



1 使用シチュエーションを考える

生活のどのような場面で取り入れたいのか。家の中で使いたいのか、外出時に持ち歩きたいのかなどでも。

2 どんな気分のおきに使いたいか

気分を上げたいのか、気分を落ち着けたいのか。実際に試しだきをしたりしながら、お好みのものをお探します。

3 ご予算

数百円から数万円のものまでたくさんあります。希望のご予算を教えていただければ、具体的なご提案ができます。



Yamadamatsu+の商品



好みの器でお香を聞くのも楽しみ方の一つ

株式会社山田松香木店 営業

藤原 康教 (ふじわら やすのり)

2008年度 人文学部環境社会学科 卒業

新卒で入社した株式会社山田松香木店で営業職として、寺社仏閣からホテルまで幅広い顧客を担当している。天然香原料を使用したアロマスプレーなど新商品の開発にも携わり、伝統産業の現場全体の活性化にもつながる、柔軟な発想で活躍中。



山田松香木店 京都本店

〒602-8014 京都府京都市上京区勘解由小路町164

《営業時間》10:30 ~ 17:00

《店休日》年末年始・お盆

URL yamadamatsu.co.jp

オンラインショップ store.yamadamatsu.co.jp

X @yamadamatsu

Instagram @yamadamatsukoubokuten

直営店は上記京都本店ほか、東京に半蔵門店、香の調べ(東京日本橋高島屋7階)があります。また「聞香」や「調香」など、さまざまな香りの体験会も行っています(予約制)。

## 植物を育てる 3つのヒント

濱中さんに植物を育てる際に役立つ、3つのヒントを聞きました。

選び方については、基本的には直感で、好きな植物を買うのが一番だと思います。大事なのは、育てる環境。例えば、雨が降らない地域原産の植物は水をやり過ぎると枯れてしまう。植物にも適材適所があります。寒さに強いのか、光が少なくても大丈夫かなど、元々その植物が育ってきた環境に寄せてあげることが大切です。植物は、手をかけた分だけ変化する。耐性を見ながら育てるうちに、共に生きている生物なんだという実感がわいてきます。ぜひ植物のある暮らしを楽しんでください。



- 1 その植物に適した環境を整える**  
日当たりや風通しの良さ、水やり頻度など、これから育てる植物にとって居心地のよい環境を確認してください。
- 2 初心者は〈日陰に強い子〉がおすすめ**  
室内で育てるなら、ポトスやアジアンタム、モンステラなど、日光が少なくても大丈夫な植物だと育てやすいです。
- 3 困ったときは近隣の植物園へ**  
全国の植物園や植物公園では、電話や窓口で園芸相談に応じています。写真や現物を持参しての相談がおすすめです。



部位の面白さを解説する濱中さん



温室のスイレンは一年中楽しめる



一番好きなムサシアブミ



園内には他の生き物も



### 草津市立 水生植物公園みずの森

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091番地  
《開園時間》9:00~17:00(最終入園16:30)  
※夏季(7月)冬季(11月~2月)は開園時間が異なります。  
《休園日》毎週月曜日、年末年始(月曜祝日の場合は翌平日が休園)  
URL <https://www.seibu-la.co.jp/mizunomori/>  
Instagram @mizunomori\_botanical\_garden

琵琶湖のほとり、烏丸半島に位置する全国でも数少ない水生植物公園。四季を通じて様々な植物が楽しめ、スイレンのコレクションは日本最多を誇る。世界最大級の葉を持つ水生植物「パラグアイオニバス」試乗会も好評。

一つの取材が別媒体の取材を呼んだ。そして2023年、人気TV番組『マツコの知らない世界』植物園の世界』で紹介される。効果は絶大で、東は千葉、西は長崎からお客さんが来てくれたという。

### 植物の「入門編」となる場所に

それまでのみずの森は、どこか愛好家しか楽しめないようなところがあった。これでは次世代の来園につながると思いい、誰もが植物の面白さを楽しさを知るきっかけの得られる場所にしたいと、イベントや展示内容を見直した。

「子ども向けに無料で楽しめる工作やイベントを用意して、お母さん方からは『いつ来ても何かやっていて助かる』と好評です。また、大人向けの専門講師を招いた有料イベントにも力を入れています。クラフトも時代と共に進化しているので、常に新しいものを提供するようにしています。材料に園内で集めた木の実なども使うことで、植物の形の面白さについても解説できる。秋はハロウィン、夏はハスやスイレンなど、季節や旬の植物と連動したイベントもやっています」

このほか、園内にハスの見どころを創出しようと、地域住民と協働でハスの植え付けなどをする「ハスいっぱいプロジェクト」にも取り組む。年々種類を増やし、現在100種類以上を栽培。開花に合わせて実施している「ハス祭り」も好評を博している。こうした様々な取り組みが実を結び、ついに2022年、来園者数はV字回復を遂げた。

### コロナ禍に二人でも楽しめる試み

少しでも季節を感じてもらえたらと、コロナ休園中は園内の開花状況をウェブ上でこまめに発信。再開すると、屋外なら安心だと来園者数が増えたそう。『癒された』『力が抜けた』という声に、スタッフ同士で「これも植物の力なんだな」と話したという。一人でもゆつくり楽しんでもらえればと、解説看板も増設。21年にはインスタグラムも開設し、投稿を見て来てくれる人も増えた。

### 楽しみ方は「育てる」以外にも

植物を育てることで癒しを得る人がいる一方で、時間や心にゆとりがなければ難しい部分があり、育てるのを苦手とする人もいるはずと、他の楽しみ方も教えてくれた。プリザーブドフラワーやハーバリウムは手入れ不要で長く飾れるし、ハーブティやアロマオイルはより日常的に楽しめやすい。中でも一番のおすすめは、通勤や散歩コースにある植物を覚えること。

「植物は気候の変化にとっても敏感なので、季節の変化をテレビからではなく、植物から教えてもらえる。3~7月は、2週間ごとに違う花が咲く。生活の中に植物が入ってくるのは、すごく楽しいですよ」

### 休日の気分転換も「植物園」へ

気分転換について聞くと、休日にも他の植物園に行くという。

「仕事中も疲れたら園内を散歩します。茎が伸びたな、などと観察しているうちに、気づけばほとんどから離れる。たまに半日くらい、ベンチでポーツとしてる人を見かけますが、一人で好きに過ごせるのも植物園の魅力ですね」。ちなみに植物以外では、「大学時代の友だちと釣りに行くこと。でも魚も植物と同じで、気候によって違うのが面白いからかも」

### 文化と植物の関わりが面白い

学生の頃は植物そのものより、文化との関わりに興味を持っていたそう。

「神事では、神などの植物が神の依代として使われているし、葵祭や祇園祭でも、決まった植物が使われている。人間の文化や生活に植物は切り離せない」と知り、面白いと感じました。部位への関心もそうだが、濱中さんは「なぜそうなんだろう」ということへの探究心が強い。それが広報として、植物の魅力を伝える原動力にもなっていると感じた。

### みずの森から地元を盛り上げていきたい

最後に今後の展望について聞くと、やはり「〈部位〉の面白さを伝えたい。いつもと違う視線で植物を見る楽しさを、もっと多くの人に知ってほしいです」。そして2年後の開園30周年については「近隣施設や行政なども連携しながら、ここから地域全体を盛り上げていければ。いろいろな人の力を借りながら、みずの森のことをもっと広めていきたいです」。濱中さんの奮闘の日々はまだまだ続きそう。



## 沖縄支部

Okinawa Branch

### 沖縄での集まり

京都精華大学を定年退職する2016年以前に、木野会の沖縄支部長の小野あきおさんから沖縄で同窓会を開催するにあたって招待されましたが、参加することができず残念に思っていました。しかし、ついに2023年の4月に2泊3日の沖縄旅行が実現したのです。

小野さんの手配で、飛行機の切符やホテルの予約、そしてすべての食事や行先までつききりで案内してくれました。その時、短大英語英文科卒業の村田太さんと久世理恵子さん、人文学部卒業の伊藤綾さん、芸術学部卒業の深谷直斗さんも一緒に行動しました。小野さんは那覇で泡盛のお店を経営していて、泡盛の蔵元に連れていってくれ、またおいしい沖縄料理やスイーツの店に行ったり、米軍基地にも特別に入ることができ、貴重な体験をすることができました。

この次に沖縄を訪問するときは、沖縄の歴史と文化に触れ、また精華大学と交流のあった沖縄大学を訪問したいと思います。もし可能なら来春、精華大学出身の皆さんと沖縄でゆっくりお話が出来ることを楽しみにしております。

呉宏明（京都精華大学名誉教授）

開催日時：2023年4月10日（月）～12日（水）  
参加者数：6名



## 東海支部

Tokai Branch

### 食品サンプル作り体験会

2023年の東海支部イベントは、名古屋市港区金城ふ頭にあるモノづくり体験パーク「Maker's Pier（メイカーズピア）」にて、食品サンプル作り体験会を実施。「溶けたアイスクリームが、スマホスタンドになったら!？」というイメージでデザインされた、ユニークなアイテムを作りました。薬剤の硬化速度によって、出来上がりにバラつきがあるのも、味わいのうちですね。イベント終了後には、メイカーズピア内に併設されたBBQ店で、懇親会を実施しました。今年も新規参加者が来てくれて、学年を越えた交流ができたことを嬉しく思っています。来期のイベントも、楽しく遊べるものを企画しますので、ぜひご参加ください。

永井利行（東海支部長／木野会会長）

開催日時：2023年10月15日（日）  
参加者数：15名



## 九州支部

Kyushu Branch

### 銀河鉄道999と巨過市場巡り at 小倉



漫画家・松本零士氏の故郷である小倉の街中には、彼のキャラクターが描かれたマンホール蓋が点在しています。今回はそれらを見て回りながら、周辺の名所を見学する企画を実施しました。遠くは東海支部からの参加者も交え、探索を開始。『銀河鉄道999』のメーテルや鉄郎、車掌さんなど次々に発見し、全9種類を見つけることができました。道中、同じく小倉出身の漫画家・北条司氏のパネルや、長崎街道の起点となる木造の橋「常盤橋」なども発見。マンホール巡りのあとは「小倉城」へ。1602年に細川忠興が築城し、現在の天守閣は昭和34年に再建された小倉のシンボルの存在です。続く「松本清張記念館」では、展示を見るほどに彼の凄さに圧倒され、再訪を決意しました。最後は巨過市場へ。広い空き地を活用した駐車場を見て、二度の火災で焼失した店舗ではないか、胸が痛みました。早い復興を願うばかりです。

江口康成（九州支部副支部長）

開催日時：2023年11月5日（日）  
参加者数：7名

## 近畿支部 活動再開!



近畿支部を再スタート！ 卒業生が一番多いはずの近畿支部。新卒業生の方から短大時代の大先輩まで各世代の同窓生が集まれる場にしたい！と考えてます。活動としてはアート展示や食、街、歴史を知る街歩きなどを検討中です。イベントやオンラインでの交流も推進していきましょう。お手伝いいただける人も待ってます！

《主な活動予定地域》京都、滋賀、奈良、大阪、兵庫、和歌山

連絡先はこちら!

担当（支部長）：山田悟史（2008年度 人文学部環境社会学科 卒業）

✉ sykh250@yahoo.co.jp



## 2023年度 専任教員退職者

マンガ学部アニメーション学科アニメーションコース  
**大橋 雅央 先生**

キャリア科目担当  
**川端 平気 先生**

芸術学部造形学科  
版画専攻  
**池垣 タダヒコ 先生**



新たなオリジナルな作品を目指してドローイングをルーチンに制作してゆこうとしています。老人に成った所為か、日々描く同じ様な絵の中にも是は今迄無かった新たな造形感覚だと、ジャメブで、シニアな発見があり興に入っています。宜しく!

1987年から37年間この大学に勤めたこととなります。その間、洋画コースの学生1500人以上と接してきました。今でも名前はすぐに出てこなくても顔と作品はセットで思い出せます。この年月は非常に充実した楽しい日々でした。有難うございました。私はあと2年間シニア教員で大学に残ります。又皆さんとお会いできると嬉しいです。



芸術学部造形学科  
洋画専攻  
**生駒 泰充 先生**

マンガ学部マンガ学科  
ストーリーマンガコース  
**おがわ さとし 先生**



京都精華大学で教員として過ごした20余年の間に知り合えた学生たちは宝物だと思っています。こちらが教えたこと以上のものを学生たちに教えられた気がします。これからはマンガ制作に専念する予定で(非常勤として1年間は教える予定ですが)、どこかで作品をお目にかけることができればと思っています。描き続けよう!

皆さん、お元気ですか。当方、2024年3月で定年退職となりました。ただ、今後も「研究」は続ける予定です。どこかでまた、交差できればうれしいです。



ポピュラーカルチャー学部  
ポピュラーカルチャー学科  
**斎藤 光 先生**

芸術学部造形学科  
洋画専攻  
**佐川 晃司 先生**



38年間、四季折々に美しい自然に囲まれ、毎年毎年新しい学生たちと出会い、2千人近い卒業生を送り出して来ました。本当に楽しく充実した年月をこの京都精華大学で送らせていただきましたこと。皆様に心から感謝しています。

京都精華大学で14年間、前任の富山大学と合わせて21年の教員生活でした。卒業生の皆さんを数多く見送ってきましたが、こんどは後ろから付いていくような気持ちがしています。今度はもうひと頑張り、マンガ作家として、ちょっと遅めの挑戦をさせていただきます。



マンガ学部マンガ学科  
ストーリーマンガコース  
**都留 泰作 先生**

## 木野会活動報告

### 木野会主催オンライン講演会 第2回「サコ学長、自由について語る」

木野会では、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、会員相互の交流の機会を得るべく、2020年にオンライン講演会の企画をスタートさせました。第2回は当時学長として学内外で注目されていたサコさんに登壇いただき、1年生必修科目である「自由論」でどんなお話をされているのかを紹介してもらいました。ロシアによるウクライナ侵攻のさなか、参加者は在学中に学んだことを思い出しながら改めて「自由」について考えることができた、と終了後のアンケートでも感想がありました。講演会の詳細は、木野会公式YouTube「木野会きのちゃんねる」にてご覧いただけます。ぜひご覧ください。



開催日時：2022年3月12日(土)13:00~14:30  
会場：オンライン  
講師：ウスビ・サコ(京都精華大学 学長/当時)  
企画者：舟津潤(常任理事)  
告知方法：木野会公式ウェブサイト、Facebook、Twitter(現X)  
参加者数：15名



木野会公式YouTube  
「木野会きのちゃんねる」

### 木野会協賛「堤ゼミ卒業式：最終講義&卒業論文授与式」 堤邦彦退職記念講演会「ためらいの疵の仲間たち ~迷うことの正義~」



堤先生が定年退職されたことに伴い、ゼミの卒業生が実行委員となり企画した「堤ゼミ卒業式・追いコン」が2日にわたり開催されました。10月7日には大学内において、堤先生による講演会と、所縁の深い教員との座談会が行われたほか、堤ゼミの卒業式として、ゼミ生が提出した卒業論文の原本を各自へ返却。翌8日には追いコンライブが行われました。(木野会は開催協賛として、大学講義室の会場提供手続きを行いました)



開催日時：2023年10月7日(土)14:00~17:00  
会場：京都精華大学 黎明館L201  
講師：堤邦彦(京都精華大学名誉教授)、他(睦月ムック・久島島元・鈴木堅弘・橋本章彦・門脇大・朴美暎)  
企画者：堤ゼミ卒業式実行委員会(ゼミ卒業生)  
参加者数：61名(zoom配信での参加：19名)

### オープンキャンパス視察

卒業生の皆様に「現在の精華」についてお伝えしたいと思い、オープンキャンパスに参加してきました。私が入学した約30年前とは違う新しい講義棟、学部や留学生も増え、グローバル化を目指しているなあと感じました。そんな中でも「精華臭」というか「見えない主張」みたいなものは、教室や学内の隅っこにちゃんと息づいていました。変わり続ける精華。何も変わらない精華。皆様には、どちらの精華も愛していただけたら、嬉しく思います。永井利行(東海支部長/木野会会長)



開催日時：2023年8月5日(土)  
企画者：永井利行(木野会会長/東海支部長)  
参加者：北井(滋賀支部長)、藤森(本部役員)、堂野(近畿支部会員)

収入の部

科目	摘要	予算	決算	差額
前年度繰越金	2021年度より繰越	27,028,274	27,028,274	0
会費収入	2022年度振替	10,100,000	10,500,000	▲400,000
	既卒業生、在学生	0	10,000	▲10,000
	小計	37,128,274	37,538,274	▲410,000
寄付金		0	0	0
受取利息(注1)		700	756	▲56
総計		37,128,974	37,539,030	▲410,056

支出の部

科目	摘要	予算	決算	差額
事業費①	会報全般	2,500,000	2,637,831	▲137,831
事業費②	総会 懇親会費	50,000	0	50,000
事業費③	ホームページ管理費・更新費	150,000	113,520	36,480
事業費④	卒業式(花・交通費)	500,000	589,950	▲89,950
事業費⑤	在学生支援	1,000,000	1,000,000	0
事業費⑥	卒業生支援	200,000	0	200,000
	小計	4,400,000	4,341,301	58,699
支部補助費	西日本支部	68,000	0	68,000
	滋賀支部	58,000	3,620	54,380
	東海支部	58,231	10,910	47,321
	近畿支部	0	0	0
	九州支部	136,000	29,983	106,017
	沖縄支部	58,500	0	58,500
	韓国支部	130,000	0	130,000
	関東支部	50,000	0	50,000
	小計	558,731	44,513	514,218
支部イベント費	西日本支部	0	0	0
	滋賀支部	0	0	0
	東海支部	100,320	100,280	40
	近畿支部	0	0	0
	九州支部	300,000	32,560	267,440
	沖縄支部	0	0	0
	韓国支部	100,000	0	100,000
	関東支部	0	0	0
	イベント予備費(通信費含む)	0	0	0
	小計	500,320	132,840	367,480
旅費・交通費	理事会5回、役員会、総会等	500,000	477,770	22,230
事務局人件費	1名	1,500,000	734,252	765,748
会議費	理事会5回、常任理事会等	30,000	13,124	16,876
通信費	発送費等	20,000	55,308	▲35,308
事務費		20,000	156,517	▲136,517
慶弔費		30,000	0	30,000
振込手数料		50,000	0	50,000
予備費		100,000		100,000
小計		2,250,000	1,436,971	813,029
次年度繰越金		23,022,012	31,583,405	▲8,561,393
総計		30,731,063	37,539,030	▲6,807,967

注1:差額の収入の部の▲印は予算額より決算額の増額を、支出の部の▲印は決算額の予算超過を意味します。

支部補助金繰越明細

西日本支部	59,110
滋賀支部	54,380
東海支部	47,321
関東支部	50,000
近畿支部	0
九州支部	191,023
沖縄支部	58,500
韓国支部	20,500
小計	480,834

大学口座繰越分 30,465,094 利子分含む

ゆうちょ口座 403,297 利子分含む

資金有高 31,583,405

注1. 各支部受取利息

大学	756
本部	4
九州支部	4
小計	764

支部イベント費残高繰越明細

東海支部	40
韓国支部	69,700
九州支部	164,440
小計	234,180

木野会は2023年度の在学生支援事業として、「京都精華大学展2024卒業・修了発表展」への支援を行いました。この卒業・修了発表展は2017年度からキャンパス内で実施されており、今年度は2024年2月14日から2月18日まで開催されました。木野会からの支援金は、展示会の運営、および「木野会賞」の賞金に充てられました。受賞者には3月20日の卒業式・学位授与式の際に賞が授与されます。



京都精華大学展2024 卒業・修了発表展の様子

木野会賞受賞者は次の通りです。おめでとうございます。

- 國吉 真咲 さん (芸術学部造形学科映像専攻) 「生活 part2」
- 金谷 侑奈 さん (デザイン学部プロダクトデザイン学科ライフクリエイションコース) 「折り飾り」
- 睦月 一 さん (マンガ学部マンガ学科新世代マンガコース) 「フタリキリオカルチック」
- 猫木 蒼 さん (ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科音楽コース) 「少女は鳥になって、僕は猫になる。」
- 高橋 希明 さん (人文学部総合人文学科文学専攻) 「平安時代の飲食表現——紫式部と食」



木野会賞選考委員会メンバー

2023年度 木野会本部役員一覧

役職	担当者	経歴
会長	永井 利行	92L、2021年度より会長
副会長	齋藤 洋明	69P、2022年度より副会長
事務・広報担当	竹田 亨	94D、2014年度より常任理事
財務担当	舟津 潤	98L、2019年度より常任理事
事業担当	藤森 千景	78D、2011年度より常任理事
事業担当	山田 悟史	204K、2022年度より理事

木野会会員専用コミュニティサイト「CHIMER」運用開始

2028年の大学創立60周年に際し、木野会としても記念事業の開催を目指しています。そこで、会員相互の連携を深めるため、会員専用コミュニティサイト「CHIMER」を導入しました。これまでFacebookなど運用してきましたが、公開型SNSでの交流を躊躇われる方もおられたため、会員のみが閲覧できる専用サイトを新たに開設。親交を深める場として、また木野会からのイベント告知ツールとしても運用予定です。ぜひご参加ください。



# 木野会 支部

京都精華大学同窓会「木野会」は1988年に設立されました。支部活動を中心に、大学創立記念に運動したイベントや卒展での在学生支援など、様々な活動を行っています。現在、海外を含む7つの地域の支部があり、学部や年齢を越えた卒業生同士の交流の場となっています。まずはぜひ、お住まいの地域の支部へご連絡ください。他地域の支部イベント参加も大歓迎です。

## 関東支部

✉ seika\_kantou@yahoo.co.jp

### 主な行事

東京散歩：食品サンプル作り、高尾山登山、ボーリング、バスツアー、成田ゆめ牧場 など



宮脇 誠  
支部長

## 東海支部

✉ kugibat4649@yahoo.co.jp

### 主な行事

東海支部イベントとして団体でしか参加できないような体験学習(企画・ワークショップ) など



永井 利行  
支部長

## 滋賀支部

✉ onelove\_yu@yahoo.co.jp

### 支部長から一言

滋賀のおもしろいこと、やってみたいこと、体験イベント募集中。



北井 和歌子  
支部長

## 西日本支部

✉ gate@chorus.ocn.ne.jp

### 主な行事

非公式「瀬戸内国際芸術祭」ツアー など



秋山 誉夫  
支部長

## 九州支部

✉ gskks892@yahoo.co.jp

### 支部長から一言/主な行事

新しく就任しました田中です。よろしくお願ひします。/「木野Q展」、「支部イベント」など



田中 久美子  
支部長

## 沖縄支部

✉ ryukyuseika@gmail.com

### 主な行事

沖縄在住の精華卒業生で不定期に集まって近況報告を兼ねた呑み会 など



小野 晃生  
支部長

## 韓国支部

✉ jineex@gmail.com

### 主な行事

総会(年1回、総会議)、イベント(年1回、文化体験)、新年会、文化・芸術活動(展覧会) など



李進熙  
支部長

### ！その他の地域の皆さまへ

お住まいの地域に該当する支部がない場合、また留学生や海外移住者による、海外支部の立ち上げなど、新支部の設立に関するご相談は、木野会事務局までお問い合わせください。

### ！入会について

1993年度入学以降の方は、入学時に終身会費を納入いただいております。それ以前に入会された方は、事務局にてお手続きください。

## コミュニティサイト「CHIMER」にぜひご登録を！

- 「CHIMER」は、登録制・利用無料の木野会会員専用のコミュニティサイトです。
- 事務局から会員全体への「お知らせ」を配信
- 在住地や入学年、学部などで、コミュニティ立ち上げが可能
- 登録者検索ができ、互いに登録していれば同期や先輩らとの再交流も

※登録は同窓会会員に限ります

※「コミュニティ」立ち上げをご希望の際はお問い合わせください

### 利用登録について

下記QRコードを読み込み、画面に従って登録してください。



- ①メールアドレスを入力し「設定する」をクリック。
- ②パスワード設定のメールが届くので、指示に従い設定してください。
- ③個人情報設定画面が表示されるので、必須項目を入力してください。
- ④登録完了となります。

▶ CHIMERに関するお問い合わせは、木野会事務局まで

お問い合わせ 同窓会活動に参加したい、『精華人』へ情報を掲載したいなど、お気軽にお問い合わせください！

## 京都精華大学同窓会「木野会」

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 (学校法人京都精華大学 経営企画グループ内)

TEL. 075-702-5201 FAX. 075-702-5391 MAIL. kinokai@kyoto-seika.ac.jp

- 会員情報の変更
- 木野会総会のご案内

はウェブサイトから

<https://seikajin.com/> ▶▶



SNS  
更新中!



Facebook



X(旧Twitter)



YouTube  
「木野会きのちゃんねる」